

2025 年 11 月 20 日

各位

J A 三井リース株式会社

J A 三井エナジーソリューションズ株式会社

ベisia前橋みなみモール店におけるオンサイト PPA 事業者として参画

～大型小売店舗における効率的な再生可能エネルギーの活用、地域の防災拠点構築を促進～

J A 三井リース株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役 社長執行役員：新分敬人、以下「J A 三井リース」）の 100%子会社である J A 三井エナジーソリューションズ株式会社（代表取締役社長：阿久津真吾、以下「JMES」）は、株式会社ベisia（本部：群馬県前橋市、代表取締役社長：相木孝仁、以下「ベisia」）が運営する大型のスーパーセンター「ベisia前橋みなみモール店」において、新たに導入される太陽光発電設備と産業用蓄電池のオンサイト PPA※1 事業者として参画しましたのでお知らせします。

※1 PPA：Power Purchase Agreement（電力販売契約）の略称。発電事業者（PPA 事業者）が電力需要家の敷地や屋根等のスペースに太陽光発電システムを設置し、そこで発電した電力を電力需要家に提供する仕組み。

記

1. 取組背景

近年、脱炭素社会の実現に向けた再生可能エネルギーの導入拡大や、電力需給逼迫への対応が喫緊の課題となっています。一方、流通小売業界では、店舗や物流センターの運営において、環境負荷低減と電力コストの最適化が重要なテーマです。

こうした中、ベisiaは、「地域社会に役立つ企業でありたい」という理念のもと、持続可能な社会の実現に向けて、環境に配慮した取組みを積極的に推進しています。このような背景のもと、JMES はベisiaにおける再生可能エネルギー導入を支援する取組みにいたしました。

2. 取組概要

JMES は、産業用蓄電池を併設したオンサイト PPA を通じて、ベisia前橋みなみモール店の屋根に太陽光発電設備を設置します。これにより、ベisiaの店舗では再生可能エネルギーを効率的に活用できます。さらに、停電時には蓄電池から電力を供給できるため、災害時のライフライン維持や避難支援に役立ち、地域防災拠点の構築に貢献します。

【ベisia前橋みなみモール店の設備概要】

太陽光発電：PPA モデルによる屋根上太陽光発電（598.7kW／パネル枚数：1,222 枚）

蓄電池：産業用蓄電池（193.5kWh×2 台／合計 387kWh）



ベイスシア前橋みなみモール店が入居する商業施設 パワーモール前橋みなみ内の太陽光発電設備

J A三井リースグループでは、経営理念「Real Challenge, Real Change」に掲げる「より良い社会と未来」に向けてサステナビリティ経営を推進しており、持続可能な社会の実現に向けて、企業活動を通じた社会課題の解決に取り組んでいます。中期経営計画「Sustainable Evolution 2028」では、「ビジネスモデルの進化」を重点施策の一つに掲げ、エネルギー・トランジション分野を成長領域と位置づけており、再生可能エネルギー関連投融资累計 6,000 億円（2021～30 年度）、2030 年度の温室効果ガス排出量 50%削減（2021 年度比）を目標に掲げています。

今後も金融から事業投資・その他関連ビジネスにグループとして一貫通貫で取り組むことで、再生可能エネルギー関連領域を拡大し、地域課題の解決に向けた取組みを進めてまいります。

【関連する SDGs】



以上

【本件に関するお問い合わせ先】

J A三井リース株式会社 経営管理部 コーポレートコミュニケーション室

電話：03-6775-3002 MAIL：JAMLDG1114@jamitsuilease.co.jp